



【JESS】JR東労組ステーションサービス協議会

2018年度

夏季手当 団体交渉を行う!



No. 12

発行 2018. 6. 6
 東日本旅客鉄道労働組合
 ステーションサービス協議会

申7号

2018年度 夏季手当に関する団体交渉実施

基本給月額 3.0ヶ月を要求!!

交渉のPOINT

JR東労組は、本日「2018年度夏季手当」の団体交渉に挑みました。会社から、2017年度期末決算の概要の説明を受け、営業収益は新規の駅受託運営が進んだことで前年度を上回る増収増益でした。また、「3つの駅づくり」の実現や、技術継承や業務改善により、「安全・働きがいのある」駅職場をめざし、日々奮闘する組合員の努力と頑張りによるものであることを強く訴えました。会社は、4月1日に「新しい人事・賃金制度」を実施したことで、基本給の見直しを理由に難色を示しました。

今後、JR東労組は満額回答を勝ち取るために引き続き粘り強く交渉していきます。

組 合

- 営業収益は114億2900万円、当期純利益は3億3700万円と2016年度決算と比較して1億5800万円増加している。
- 受託駅箇所の増加や遠隔操作システムの導入により業務量が著しく増加し、現場第一線で奮闘する組合員の努力に報いるべき。
- 経営状況は順調に推移していることから基本給月額3.0ヶ月を支払う能力は十分ある。

会 社

- 当期純利益が増加している理由は、若年出向者がJR東日本に復帰したことにより人件費の負担が縮小したからである。
- 施策および事故防止やサービス向上に対して、現場の組合員の理解と協力があつたことに感謝している。
- 夏季手当について、期末決算の状況とこれから掛かる費用の要素を含め検討し回答したい。

JESS 損益計算書(抜粋)

【単位:百万円】

	2016年度 決算	2017年度 決算
営業収益	10,235	11,429
売上総利益	1,169	1,531
営業利益	285	544
経常利益	294	558
当期純利益	178	337

組合員の努力に報い

満額回答を!



JR東労組の旗の下に結集し、職場からの闘いによって
 満額回答を実現させよう!!

委託駅で「水平分業」を担ってきたプロパー組合員の仲間が、JR東日本グループの一員であることを実感できる夏季手当を目指し、ステーションサービス協議会と共に奮闘しよう!